

環境経営レポート



2023年度版

対象期間：2023年4月-2024年3月

発行日：2024年4月1日

東京都内の基幹市場で清掃・廃棄物処理を実施



中村産業

目次

項	目	ページ
I	環境経営方針(1)環境理念 (2)行動指針	1
II	事業の概要 (1)名称及び代表者名 (2)所在地 (3)環境責任者等連絡先	2
	(4)事業活動 (5)事業所の規模	2
	(6)事業年度 (7)認証/登録の対象活動等	3
	(8)一般廃棄物収集運搬業許可の内容	4
	(9)産業廃棄物収集運搬業許可の内容	5
	(10)施設等の状況	6
	(11)受託した廃棄物の実績	7
	(12)発泡スチロール再資源化処理フロー図	8
III	環境経営組織図	9
IV	環境経営目標(1)中長期の環境目標	10
V	環境経営計画(1)環境経営目標と主要な環境活動計画	11
VI	環境実績 (1)環境目標の実績	12
	(2)環境目標の実績と評価	13
VII	環境活動の取組み結果の評価及び次年度の取組み	14
VIII	環境関連法規等の遵守状況の評価の確認	
	(1)当社に関する主な法規 (2)違反/訴訟等	15
IX	代表者による全体評価と見直しの結果	16

I. 環境経営方針

1. 環境理念

当社は営業活動全般が地球環境、お客様及び当社自身を取り巻く社会環境全てにおいて改善が図られることを主たる目的としています。そして、ここに改めて環境経営システムを構築し、確実に運営していく事によって地球環境と社会活動が持続的に共生していける環境を作り出し、次世代に受け継げるよう行動して参ります。

2. 行動指針

当社が環境経営システムを策定・運営し、また環境関連法規等のコンプライアンスを重視し、それと共に環境全般に対する負荷の低減に取り組んで参ります。以下①～⑥に掲げた行動指針に基づき確実に実行して参ります。

① 二酸化炭素の排出を削減します

節電を励行し、また業務で使用する全車両でエコドライブを心掛け、仕事の効率化を図ることにより、全車両の走行距離を少なくし二酸化炭素の排出を削減するよう努力します。

② 水の使用量を削減します

当社で行っている業務（車両の洗車、散水作業等）全般を見直し効率化や仕事の手順などを再確認し水の使用量を削減します。

③ グリーン購入の促進

環境に配慮をした商品・サービスを可能な限り利用し、グリーン購入を促進致します。

④ 機械・車両のメンテナンス

機械・車両等のメンテナンスを確実に実施し、良好な稼働状況を保ち長期に使用（保有）することで環境負荷の低減（資源の節約）に努めます。

⑤ 法令遵守

環境関連法令・条例等の法令を把握し遵守に努めます。

⑥ 研修

この環境方針は全従業員に研修・教育を通して周知し、全従業員が一丸となって環境負荷低減に努めます。

制定2019年7月1日

中村産業株式会社

代表取締役 中村 英生

II. 事業の概要

(1)名称及び代表者名

事業者名 中村産業株式会社

役職・代表者名 代表取締役 中村 英生

(2)所在地

本社/豊洲支社 〒135-0061 東京都江東区豊洲六丁目6番6

(68名)

大田支社 〒143-0001 東京都大田区東海三丁目2番

(11名)

(3)環境管理責任者/EA21担当者及び連絡先

環境管理責任者 中村 健二（ 執行役員 営業戦略担当 ）

EA21担当者 大塚 洸顧（ 経理 ）

TEL : 03-6633-0189 / FAX : 03-6633-0889

E-mail : nakamurasanngyou@nifty.com

(4)事業活動

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬事業、

建物管理・清掃事業、発泡スチロールの再資源化

(5)事務所の規模

□資 本 金 2,000万円

□社員数 79名(本社) 4名

(豊洲支社) 64 名

(大田支社) 11 名

□売上高 1,531,409千円（2023年度実績）

□法人設立年月日 昭和50年4月10日

□事務所延べ面積 545.3平方メートル

Ⅱ. 事業の概要

(6)事業年度

事業年度 4月1日 - 翌3月31日

(7)認証/登録の対象活動

認証 / 登録機関 ISO9001

認証 / 審査機関 インターテック株式会社

対象事業所 ☐ 本社・豊洲支社

〒135-0061 東京都江東区豊洲六丁目6番6

☐ 大田支社

〒143-0001 東京都大田区東海三丁目2番

認証日 2023年 10月頃に認証取得

Ⅱ. 事業の概要

(8)一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可自治体	積替 保管	取扱う種類		運搬先
		普通ごみ	道路・公園	
千代田区	無	○	○	清掃工場
中央区	無		○	清掃工場
港区	無		○	清掃工場
新宿区	無		○	清掃工場
文京区	無		○	清掃工場
台東区	無		○	清掃工場
墨田区	無		○	清掃工場
江東区	無	○	○	清掃工場
品川区	無		○	清掃工場
目黒区	無		○	清掃工場
大田区	無	○	○	清掃工場/(株)アルフォ/バイオエナジー(株)
世田谷区	無		○	清掃工場
渋谷区	無		○	清掃工場
中野区	無		○	清掃工場
杉並区	無		○	清掃工場
豊島区	無		○	清掃工場
北区	無		○	清掃工場
荒川区	無		○	清掃工場
板橋区	無		○	清掃工場
練馬区	無		○	清掃工場
足立区	無		○	清掃工場
葛飾区	無		○	清掃工場
江戸川区	無		○	清掃工場
許可号番：第892号		許可有効期限：令和7年7月31日		
		許可の年月日：令和5年7月27日		

II. 事業の概要

(9)産業廃棄物許可の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業許可証

許可自治体	積替保管	許可番号	許可の年月日	許可有効期限
東京都	無	第13-00-046708号	令和4年3月28日	令和9年3月27日
神奈川県	無	資循第40560号	令和5年12月20日	令和10年12月19日
埼玉県	無	1100046708号	令和5年12月20日	令和10年12月19日

※許可の年月日、許可有効期限の表記つきましては、許可書記載のとおり

- ・産業廃棄物収集運搬委託業務に係る受託者の許可品目

一 覧 表							
燃え殻	汚 泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず			鉋さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず
繊維くず	動植物性残さ	動物性固形不要物		動物のふん尿	動物の死体	政令13号物	

※産業廃棄物収集運搬委託業務の内容及び受託者の事業内容より引用

許可自治体	許 可 品 目
東京都/神奈川県	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ
埼玉県	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(瓦礫を除く)及び陶磁器くず、木くず

◆石綿含む有産業廃棄物を含む旨、水銀使用製品産業廃棄物を含む旨、又は水銀含有ばいじん等を含む注記がない種類については、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含む有ばいじん等を収集・運搬できない。

Ⅱ. 事業の概要

(10)施設等の状況

・廃棄物収集運搬用車両

機械器具名	名称等		台数	内産業廃棄物登録車
パッカー車	日野	3トン車/4トン車	21	6
アームロール車		4トン車	3	3
ダンプ車		1.5m深あおりの4トン車	2	3
トラック (平ボディー)	トヨタ	1.5トン車	1	1
バキューム式 ロードスweeper	加藤 製作所	3トン車ベース	1	0
トーイング車	トヨタ		3	0
フォークリフト		2トン・ヒンジド フォークバケット付き	23	0
スweeper	ケルヒャー	搭乗式	1	0
スクラバー	テナント社 ケルヒャー	テナント社：搭乗式T16型 ケルヒャー：搭乗式	5	0
ターレー	ニチュ		4	0

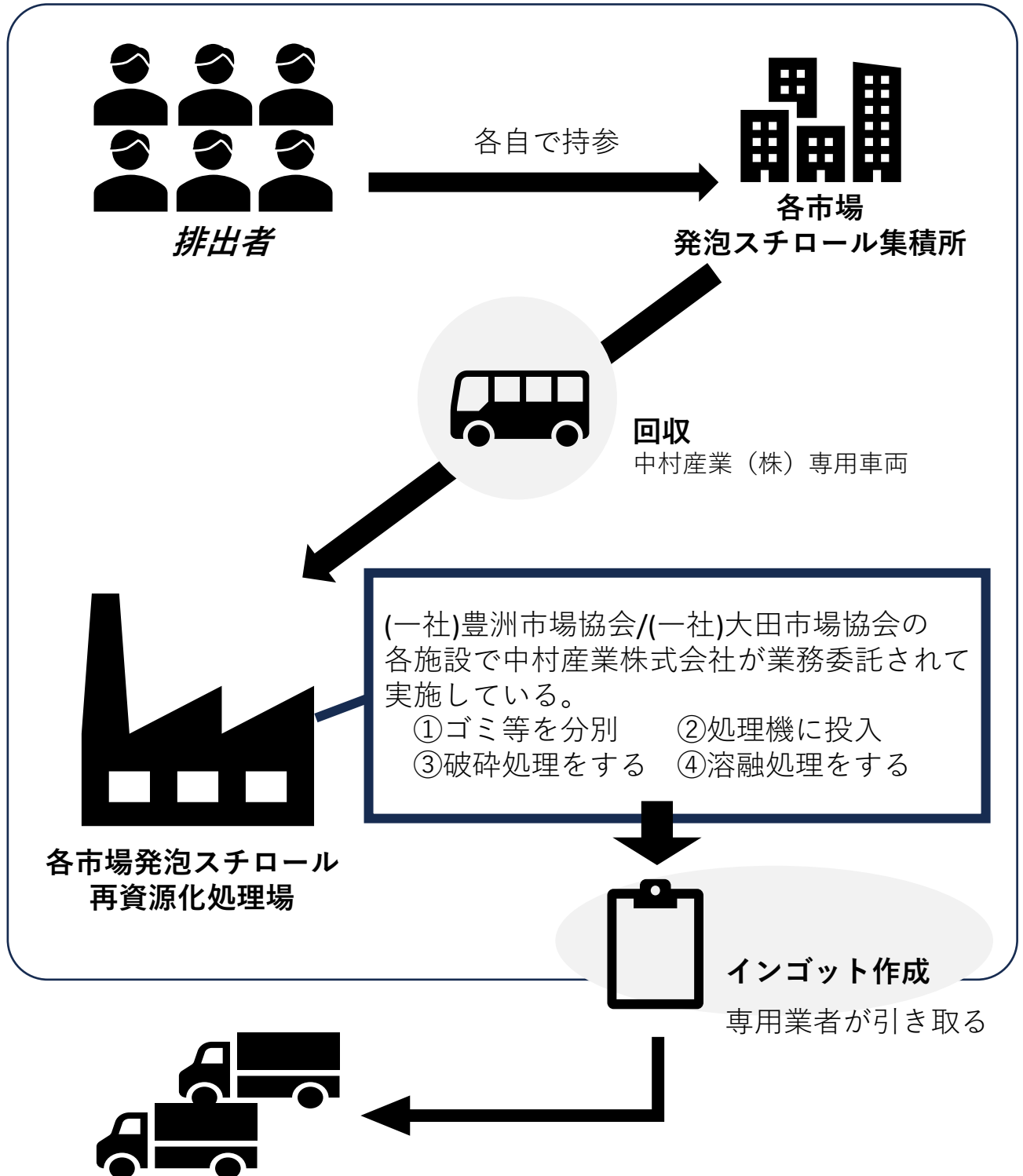
Ⅱ. 事業の概要

(11)受託した一般/産業廃棄物、その他の運搬実績（単位：t）

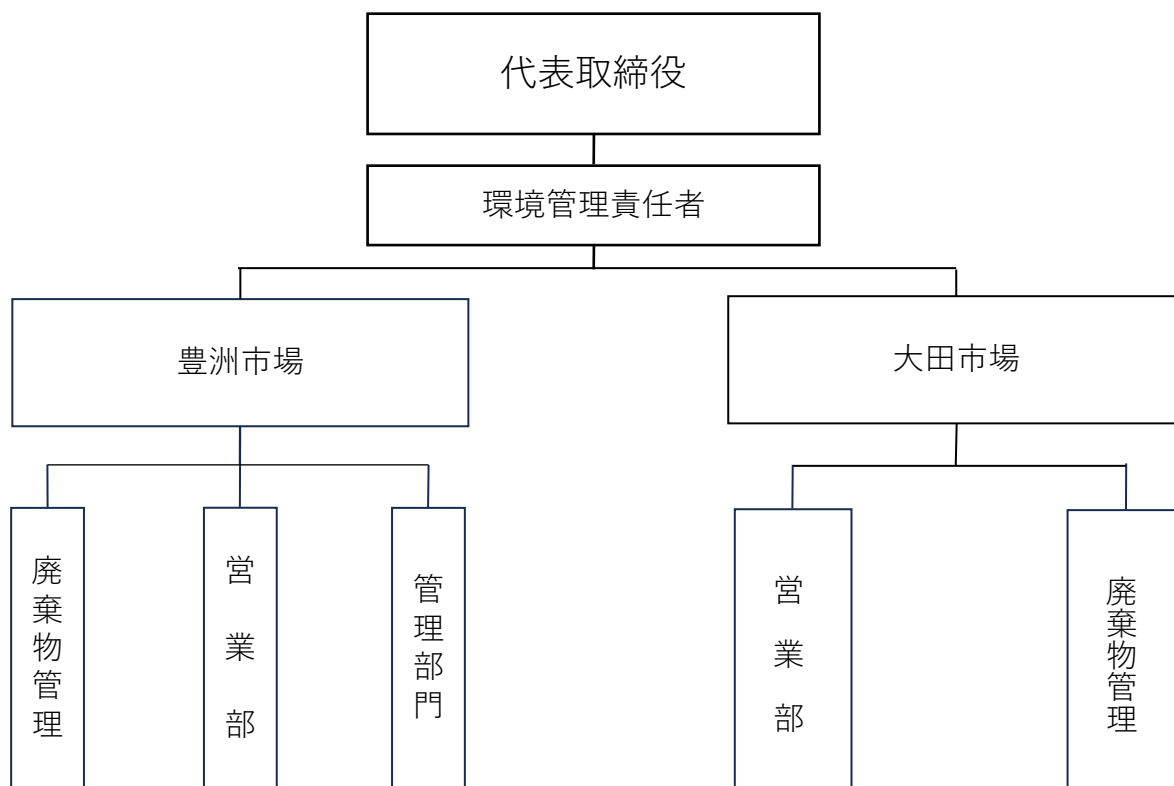
処理 方法等	廃棄物等種類	2022年度 (2022.04-2023.03)	2023年度 (2023.04-2024.03)
収 集 運 搬	一般廃棄物	13,402	12,548
	発泡スチロール	1,700	1,684
	燃え殻		
	汚泥	31	38
	廃油		
	廃酸		
	廃アルカリ		
	廃プラスチック類	2,841	2,643
	ゴムくず		
	金属くず	66	153
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	11	12
	鋳さい		
	がれき類		
	ばいじん		
	紙くず		
	木くず	2,132	2,092
	繊維くず		
	動植物性残さ		
	動物系固形不要物		
	動物のふん尿		
	動物の死体		
	産業廃棄物を処分するために処理したもの		
	石綿含有ばいじん等		
	水銀使用製品産業廃棄物		
収集運搬量合計		20,183	19,170
前 年 比			95%

II. 事業の概要

(12)発泡スチロール再資源化処理フロー図



Ⅲ. 環 境 経 営 組 織 図



役 割	責任および権限
代 表	☐ 取り組みの対象組織・活動の明確化 ☐ 環境方針の作成、全従業員に周知 ☐ 環境活動レポートの承認 ☐ 実施体制の構築、環境管理責任者の任命 ☐ 代表者による全体の評価と見直し ☐ 経営における課題とチャンスを整理する 他
環境管理責任者 (EA21事務局)	☐ 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価（事務局） ☐ 環境関連法規の取りまとめ（事務局） ☐ 環境目標及び環境活動計画の策定 ☐ 環境コミュニケーションの実施 ☐ 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 ☐ 環境関連文章及び記録の作成・管理（事務局） ☐ 環境活動レポートの作成・公表（事務局）、確認（環境責任者） 他
部門責任者	☐ 教育・訓練の実施 ☐ 実施及び運営 ☐ 環境上の緊急事態への準備及び対応
全従業員	☐ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、積極的に参加 ☐ 部門責任者の指示に基づいて環境管理活動に取り組む 他

IV. 環境経営目標

(1)中長期の環境目標

環境経営 目標	項目	2023年度 (2023.04-2024.03)	2024年度 (2024.04-2025.03)	2025年度 (2024.04-2025.03)
二酸化炭素削減に関する項目	電力使用量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	20 kWh	22 kWh	22 kWh
	LPG使用量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	63 kg	66 kg	66 kg
	ガソリン使用量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	5.4 L	5.3 L	5.2 L
	軽油使用量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	156 L	173 L	173 L
	都市ガス使用量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	0.80 m3	0.79 m3	0.78 m3
	二酸化炭素排出量 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	280 kg-CO2	275 kg-CO2	270 kg-CO2
水使用量削減 ※売上高当たり(単位/百万円) 以下にする		0.4 m3	0.4 m3	0.4 m3
一般廃棄物排出量 ※売上高当たり(単位/百万円) 以下にする		1.4 kg	1.3 kg	1.3 kg
産業廃棄物排出量 ※売上高当たり(単位/百万円) 以下にする		0.5 kg	0.4 kg	0.4 kg
受託産業廃棄物の収集運搬 における環境配慮		P11参照	P11参照	P11参照

※電力排出係数：0.462kg-CO2／kWh

V. 環境経営計画

(1)環境経営目標とその主要な環境経営計画

2023年4月-2024年3月の環境目標及び環境経営計画を示す

環境経営目標	主要な環境経営計画
電力使用量 20 kWh ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 不必要な照明の停止 ☐ 不必要なエアコンの停止 ☐ 業務終了時の電源遮断 ...具体的には各要員が電気使用量削減手順書(EA-9-01)を遵守する。 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視/管理する。
LPG使用量 63 kg ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 走行ルート of 適正化 ☐ 走行時間の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行時間に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
ガソリン使用量 5.4 L ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 走行ルート of 適正化 ☐ 走行距離の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行距離に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
軽油使用量 156 L ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 走行ルート of 適正化 ☐ 走行距離の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行距離に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
都市ガス使用量 0.80 m3 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 設定温度を上げ過ぎない ☐ シャワー・給湯の節水 ☐ 業務終了時の電源遮断 ... 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視/管理する。
二酸化炭素排出量 280 kg-CO2 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	各要員は電気使用量削減手順書及び社用車運用手順書を遵守しながら日常の本来業務を実施する。責任者(中村健二)は定期的上記手順書の運用状況監視/測定し、運用上の問題あるときは環境管理責任者と協議し是正処置を取る。
水使用量削減 0.4 m3 ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ トイレ、キッチン等で節水に努める ☐ 洗車の場合、流しっぱなし等の過剰の水道水を使用しない ...具体的には各要員が水使用量削減手順書(EA-9-04)を遵守する。 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視、管理する。
一般廃棄物排出量 1.4 kg ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 廃棄物は所定の方法で計量し、分別排出する ☐ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)により廃棄物排出量を削減する ...具体的には各要員が一般廃棄物処理手順書(EA-9-06)を遵守する。 責任者(小此木慎太郎)は全体としての活動状況を監視、管理する。
産業廃棄物排出量 0.5 kg ※売上高当たり (単位/百万円)以下にする	☐ 廃棄物は所定の方法で計量し、分別排出する ☐ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)により廃棄物排出量を削減する ...具体的には各要員が一般廃棄物処理手順書(EA-9-06)を遵守する。 責任者(小此木慎太郎)は全体としての活動状況を監視、管理する。
受託産業廃棄物の 収集運搬における環境配慮	☐ エコドライブ等運転方法の配慮を励行し、収集運搬車両の燃費向上に努める ☐ 排気ガスや騒音レベルを抑えるため適正な車両整備を行う ☐ 最新の低公害・低燃費車両への代替を進め、低公害車両の比率向上に努める ☐ 収集運搬の効率化を検討する会議を設置する 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視、管理する。

※化学物質は使用していません

VI. 環 境 実 績

(1)環境負荷の実績

2023年4月-2024年3月

月		電力	LPG	ガソリン	軽油	都市ガス	水	売上
		kWh	kg	L	L	m3	L	(百万円)
4月	数量	6,679	2,826	180.34	7,601.13	35.80	50	127
	CO2	3,086	8,478	418.39	19,610.92	77.33	-	
5月	数量	5,960	2,710	246.41	8,958.04	34.87	67	134
	CO2	2,754	8,130	571.67	23,111.74	75.32	-	
6月	数量	5,078	2,915	219.79	8,520.36	49.18	49	138
	CO2	2,346	8,745	509.91	21,982.53	106.23	-	
7月	数量	5,204	2,840	178.69	9,882.52	57.04	67	145
	CO2	2,404	8,520	414.56	25,496.90	123.21	-	
8月	数量	6,215	2,698	214.80	9,871.72	44.43	59	142
	CO2	2,871	8,094	498.34	25,469.04	95.97	-	
9月	数量	7,138	2,684	216.90	8,355.86	45.79	53	134
	CO2	3,298	8,052	503.21	21,558.12	98.91	-	
10月	数量	7,418	2,920	192.52	8,190.14	45.62	50	133
	CO2	3,427	8,760	446.65	21,130.56	98.54	-	
11月	数量	5,581	2,828	270.31	7,772.80	26.56	57	133
	CO2	2,578	8,484	627.12	20,053.82	57.37	-	
12月	数量	5,158	3,174	333.64	9,845.01	50.56	59	142
	CO2	2,383	9,522	774.04	25,400.13	109.21	-	
1月	数量	6,286	2,755	371.52	7,922.00	44.43	68	117
	CO2	2,904	8,265	861.93	20,438.76	95.97	-	
2月	数量	6,844	2,847	196.06	7,763.11	45.79	49	128
	CO2	3,162	8,541	454.86	20,028.82	98.91	-	
3月	数量	7,536	2,950	168.35	8,199.15	33.78	67	130
	CO2	3,482	8,850	390.57	21,153.81	72.96	-	
年合計		75,097	34,147	2,789	102,882	513.85	695	1,603
平 均		6,258	2,846	232	8,573.49	42.82	58	134
CO2合計		34,695	102,441	6,471	265,435	1,109	-	410,151

※化学物質は使用していません ※CO2の単位はkg

VI. 環 境 実 績

(2)環境目標の実績と評価

環 境 目 標	項 目	2023年度目標 (2023.04-2024.03)	実 績 (2023.04-2024.03)	評 価
二酸化炭素削減に係る項目	電力使用量	20 kWh /百万円	22 kWh /百万円	×
	LPG使用量	63 kg /百万円	66 kg /百万円	×
	ガソリン使用量	5.4 L /百万円	4.2 L /百万円	○
	軽油使用量	156 L /百万円	173 L /百万円	×
	都市ガス使用量	0.80 m3 /百万円	0.72 m3 /百万円	○
	二酸化炭素排出量	280 kg-Co2 /百万円	267 Kg-Co2 /百万円	○
水使用量削減		0.4 m3 /百万円	0.4m3 /百万円	○
一般廃棄物排出量		1. 4kg /百万円	1.3kg /百万円	○
産業廃棄物排出量		0.5kg /百万円	0.4kg /百万円	○
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮		P11参照	エコドライブの励行が浸透し車 輛整備を行った ため燃費削減で きた。	○

VII. 環境活動の取組み結果の評価及び次年度の取組み

(1)対象期間 : 2023年 4月 - 2024年 3月

種 類		達成 状況	評 価
二酸化炭素削減に係る項目	電力使用量	×	各自が節電の意識を持っていましたが猛暑によるエアコンの使用量や感染症対策における空気清浄・加湿器の導入により達成することが出来ませんでした。 目標に向けて改めて取り組んでいきたいと思います。
	LPG使用量	×	経済活動がコロナ禍と比較するとほぼ正常化し、業務量が大幅に増えた為、LPG使用量の目標は達成が出来ませんでした。エコドライブや作業の効率化を見直し、目標に向けて取り組んでいきたいと思います。
	ガソリン使用量	○	各自がそれぞれの車輛においてエコドライブを意識しながら、作業の効率化を行うことにより、ガソリン使用量の目標を達成することができました。
	軽油使用量	×	経済活動がコロナ禍と比較するとほぼ正常化し、業務量が増えたこと。また、既存の清掃工場メンテナンス等があり遠方の工場への持込が増えてしまったため達成することが出来ませんでした。
	都市ガス使用量	○	シャワー・給湯の水量の調整やお湯の温度調整の徹底により、目標を達成することが出来ました。
	二酸化炭素排出量	○	節電の励行と、エコドライブや作業ルートの効率化が社員一人一人に浸透し行ってきた結果、全体として二酸化炭素排出量の目標が達成することができました。 引き続き習慣化するよう、努めていきたいと思います。
一般廃棄物排出量		○	分別の徹底やリサイクルを推進することによりゴミの減量を達成することが出来ました。
産業廃棄物排出量		○	分別の徹底やリサイクルを推進することによりゴミの減量を達成することが出来ました。
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮			コロナ禍が収束してきており業務の量が元に戻りつつあります。更なるエコドライブと作業ルートの効率化を図り、また、新しく導入する車輛が環境負荷を低減する効果があるものを積極的に導入してまいります。

VII. 環境活動の取組み結果の評価及び次年度の取組み

(2)次年度の環境経営計画

環境経営目標	主要な環境経営計画
電力使用量	☐ 不必要な照明の停止 ☐ 不必要なエアコンの停止 ☐ 業務終了時の電源遮断 ...具体的には各要員が電気使用量削減手順書(EA-9-01)を遵守する。 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視/管理する。
LPG使用量	☐ 走行ルートの適正化 ☐ 走行時間の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行時間に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
ガソリン使用量	☐ 走行ルートの適正化 ☐ 走行距離の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行距離に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
軽油使用量	☐ 走行ルートの適正化 ☐ 走行距離の記録・管理 ☐ 車検の遵守 ☐ 走行距離に基づく保全・整備をする ...具体的には社用車運転要員が社用車運用手順書(EA-9-02)を遵守する。 責任者(中村健二)は全体としての活動状況を監視/管理する。
都市ガス使用量	☐ 設定温度を上げ過ぎない ☐ シャワー・給湯の節水 ☐ 業務終了時の電源遮断 ... 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視/管理する。
二酸化炭素排出量	各要員は電気使用量削減手順書及び社用車運用手順書を遵守しながら日常の本来業務を実施する。責任者(中村健二)は定期的に上記手順書の運用状況監視/測定し、運用上の問題あるときは環境管理責任者と協議し是正処置を取る。
水使用量削減	☐ トイレ、キッチン等で節水に努める ☐ 洗車の場合、流しっぱなし等の過剰の水道水を使用しない ...具体的には各要員が水使用量削減手順書(EA-9-04)を遵守する。 責任者(大塚洗顧)は全体としての活動状況を監視、管理する。
一般廃棄物排出量	☐ 廃棄物は所定の方法で計量し、分別排出する ☐ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)により廃棄物排出量を削減する ...具体的には各要員が一般廃棄物処理手順書(EA-9-06)を遵守する。 責任者(小此木慎太郎)は全体としての活動状況を監視、管理する。
産業廃棄物排出量	☐ 廃棄物は所定の方法で計量し、分別排出する ☐ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)により廃棄物排出量を削減する ...具体的には各要員が一般廃棄物処理手順書(EA-9-06)を遵守する。 責任者(小此木慎太郎)は全体としての活動状況を監視、管理する。
受託産業廃棄物の 収集運搬における環境配慮	☐ エコドライブ等運転方法の配慮を励行し、収集運搬車両の燃費向上に努める ☐ 排気ガスや騒音レベルを抑えるため適正な車両整備を行う ☐ 最新の低公害・低燃費車両への代替を進め、低公害車両の比率向上に努める ☐ 収集運搬の効率化を検討する会議を設置する 責任者(中村健二)

※化学物質は使用していません

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の確認

(1)当社に関する主な法規

弊社が法的義務を受ける主な環境関連法規は以下の通りです。

確認日：2023年11月		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	☐ 産業廃棄物の分類 ☐ マニフェストによる管理 ☐ 廃棄物運搬収集 ☐ 処理業者との委託契約 ☐ 廃棄物保管場所の管理（表示・分別等） <<許可申請の実施>>一般廃棄物：2年ごと 産業廃棄物：5年ごと <<マニフェスト記載の徹底>> 排出日/種類/重量等を確実に記載 <<マニフェストの送付>> 収集運搬後、最終処分場よりの返却後速やかに送付	○
消 防 法	☐ 危険物保安監督者の選任届出 ☐ 消防計画の届出 ☐ 防火管理者の選任届出 ☐ 危険物の貯蔵 ☐ 指定数量の管理 ☐ 熱感知器/煙感知器/消火器の管理	○
道 路 交 通 法	☐ 交通事故/交通標識	○
自転車Nox、PM法	☐ 自動車排ガス中のNox・PMの規制値以下	○
道路運送車両法	☐ 車検の管理	○
自動車リサイクル法	(使用済自動車の再資源化に関する法律) ☐ 自動車所有者は買い替え時にリサイクル料を支払う	○
家電リサイクル法	☐ 特定家電(ユニット型エアコン/ブラウン管式テレビ/冷蔵庫/洗濯機)の買い替え時に販売店へ引き渡し、料金を支払う	○
グ リ ー ン 購 入 法	☐ グリーン調達の励行	○
下 水 道 法	☐ 廃水の排出/水質汚濁物質の規制値以下	○
PRTR法	☐ 化学物質の製造/排出/移動量の管理/届出/SDSの保管	○
フロン排出抑制方	☐ 簡易点検：第1種特定製品は3か月に1回以上実施 ☐ 定期点検：圧縮機に用いられる電動機の定格出力 (7.5KW-50KWは3年に一回以上。50KW以上は1年に1回以上) ☐ 漏洩防止処置、修理しないままの充填の原則禁止 ☐ 機器の点検/修理、冷媒の充填/回収等の履歴の記録/保存 ☐ フロン類算定漏洩量の一定量以上の国への報告 ☐ 機器廃棄時等のフロン類回収の徹底 第一種フロン類委託業者へ委託/料金の支払い ☐ 冷媒フロン類みだり放出禁止	○
食品リサイクル法	(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律) ☐ 食品廃棄物多量発生事業者(食品廃棄物を100トン/年以上発生する食品関連事業者)は毎年6月末までに定期報告をする義務がある	○

(2)違反、訴訟等

過去3年間、一度も上記の法規に関する違法/訴訟はありません。

IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

≪ 対 象 範 囲 ： 2023年4月-2024年3月 ≫

2023年度エコアクション21に対し、会社全体で取り組んだ結果、電力・LPG・軽油の使用量については目標を達成することが出来ませんでした。

コロナ過と今日の経済活動状況を比較すると業務がほぼ正常に戻り業務量が大幅に増えました。これにより自動車の走行距離も増えた為LPG・軽油の使用量も増えました。

現在の環境目標はコロナ禍に作成したものを基準としていることもあり、2024年度以降は環境目標を見直し、現在の業務に合わせて作成し直しました。

また遠方の清掃工場への持込指定が増えたことも原因の一つとして挙げられますが、エコドライブや走行ルートの適正化と見直しを再度行い、環境に配慮した業務を引き続き取り組んでいきます。

そしてPDCAを活かして社員一人一人が環境に配慮した業務ができるように、研修等を通し意識できるような環境作りをして今後も継続していきます。

